

一般質問

6月19日



自由民主クラブ

さ さ き だい すけ
佐々木 大介

Q 市の行政改革の取り組みについて A 時間外勤務の縮減等に鋭意努める

②市は昨年、第4次行政改革大綱を策定し、仕事と生活の調和の取れた働き方を推進するとしています。時間外勤務縮減に向けた取り組みと、昨年度の実績について伺います。

問 ①5月に札幌市の職員が親と賃貸借契約した形を取ったにもかかわらず家賃を払わずに住宅手当を不正に受給していた事例が判明し、報道でも大きく取り上げられていますが、本市職員で親族間の賃貸借契約を行っているケースはあるのか、また、今後の対応について伺います

答 ①今回の報道を受け住宅手当の支給対象者に提出を求めている契約書等で確認を行ったところ現状では親族間での賃貸借契約と思われる事例は確認されていませんが、今後は金銭支払いの有無などの確認手法等について検討したいと考えています ②市はこれまでも業務の改善や効率化の取り組みに加え、長時間の時間外勤務を行っている所管には必要に応じてヒアリングを実施するなどの対策に努めています。また、平成29年度の実績は全体の時間数として前年度と比較ではほぼ同水準と見込んでいますが、このうち大雨災害の対応や衆議院の解散など突発的な特殊事情を除くと、やや減少しているものと考えています。
(総務部)

Q 石狩まるごとフェスタの課題について A 警備費など事業経費が増加傾向にある

問 来場者が5万人を超える石狩まるごとフェスタは花火の規模が大きくなるにつれ周辺道路の混雑がひどくなり、年々開催費用が膨らんでいると聞いていますが、会場警備費の推移を伺います。

答 平成29年度の警備費は約650万円で、この2年間で3倍近い金額を要している状況となっております。ただ、開催費用は警備費だけではなく、そのほかさまざまな経費も増加しているのが現状であり、今年度については本フェスタに協賛していただいている企業に状況をお話し、相応の負担をしていただける方向で準備を進めているところです。今後は、イベントの内容や手法を含め、実行委員会でも検討していく必要があると考えています。(企画経済部)



▲石狩まるごとフェスタ

Q 体育施設の市内団体優先利用について A 事前に大会等を確認して利用日を決定

問 ①多目的スポーツ施設サン・ビレッジいしかりと石狩市B&G海洋センターは特に冬期間の利用が多く、専用利用で実施される抽選会には希望者が殺到し高倍率になっていますが、昨年のそれぞれの申込状況を伺います ②専用利用に対する市内団体などの優先利用についてはどのような取り扱いになっているのか伺います。また、土日祝日の施設利用

が難しいと聞き及んでいます。また、市内スポーツ少年団などが優先的に利用できないか、考えを伺います。
答 ①サン・ビレッジいしかりは施設の指定管理者である市体育協会が利用希望の受け付けを行い、延べ1066団体の申し込みがあり、石狩市B&G海洋センターは延べ524団体の申し込みがありました ②両施設では市内の競技団体等から事前に

大会や講習会などの日程を確認し利用日を決定しています。また、スポーツ少年団などの土日祝日に係る施設の優先利用の見直しについては、体育協会と今後協議したいと考えています。
(保健福祉部)

その他の質問

- 公有地の活用について
- 所有者不明土地について
- 移住定住促進事業について
- 市内小中学校の施設更新について